

Information

“キャリアアップ”と“つながる”ための情報です
気になる学会・研究会、セミナーなどに出かけよう！

※掲載している情報は2021年12月3日時点のものです。最新の情報は主催元をご確認ください。

全国訪問看護事業協会 令和3年度研修会 (Web開催)

募集期間 1月27日(木)まで

受講可能期間 2か月間

◎第3回訪問看護基礎研修会

講義時間 約10時間

受講料 会員1万7000円、非

会員3万2000円

対象 訪問看護に従事する看護師等

概要 訪問看護における接遇／訪問看護の実際と訪問看護利用者の理解／多職種との連携／あなたが目指す訪問看護とは／訪問看護の制度の理解／リスクマネジメントの視点／訪問看護における家族支援

◎第3回訪問看護新任管理者研修会1——これだけは知っておきたい管理者業務

講義時間 約9時間

受講料 会員1万7000円、非

会員3万2000円

対象 訪問看護ステーションの管理者、または管理者になる予定の保健師・看護師・助産師で、訪問看護の新任従事者を対象とした研修会(訪問看護基礎研修会や新

任従事者研修会、他団体主催の同等の研修会)修了者

概要 訪問看護ステーションの管理業務の概要・管理者の役割／訪問看護ステーションの経営管理／管理者としての課題の抽出・分析と今後の目標／訪問看護ステーションに関わる諸制度と訪問看護を取り巻く状況／訪問看護におけるICT活用のための基礎知識／ICTを活用した訪問看護ステーションでの管理業務の実際／訪問看護ステーションにおける質の管理

◎第3回訪問看護新任管理者研修会2——経営管理の基本

講義時間 約4時間30分

受講料 会員8000円、非会員

2万2000円

対象 訪問看護新任管理者研修会1修了者、または過去に訪問看護新任管理者研修会を修了した者

概要 訪問看護事業所における事業計画・予算の立て方、労務管理の基礎知識

◎第2回訪問看護師のための再度確認！保険請求業務

講義時間 約6時間

受講料 会員8000円、非会員

2万2000円

対象 訪問看護に従事する看護職員(准看護師除く)、管理者またはそれに準ずる看護職員と視認できる事務職員

概要 訪問看護ステーションにおける介護保険・医療保険の算定構
造／保険請求の実際／公費請求の
実際／間違えやすい請求／訪問
看護実務相談Q&Aの活用／施
設の訪問／令和3年4月の介護報
酬改定について

【以下共通】
◎全国訪問看護事業協会
☎03-33351-5898
FAX 03-33351-5938

2022年度木村看護 教育振興財団助成募集

◎看護研究助成

助成対象 看護の質的充実・向上が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎。

助成する研究の分野 基礎看護

成人看護、老年看護、小児看護、

母性看護、精神看護、地域看護、

在宅看護、看護管理、看護教育、

その他

応募資格・要件

①申込者(共同研究の場合は研究代表者)は、日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人。

②大学の教員、大学院生は対象とならない。ただし、大学院生でも、臨床・地域看護に従事している看

護職者は対象となる。
③助成採択後、ただちに所属機関等の倫理審査委員会等への承認申請を行うこと。または、すでに承認申請中であること。

④関係所属長の許可・推薦があること。
⑤営利を目的とする研究は対象にならない。

研究期間 4月1日(金)～

2023年9月30日(金)

助成金額 1件につき100万円

を限度

助成金の使途および報告

①助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外(財団Webページの別紙「研究助成費目一覧」参照)。

②助成金の使途については、助成対象研究に必要な直接経費に限る。間接経費は含まない。

③助成金の使途については、収支状況表に領収書等を添えて詳細な報告をする。

応募方法 財団Webサイトの「2022年度 看護研究助成申込書」に必要な事項を記入の上、本財団へ郵送。

申込締切日 1月20日(木)必着

選考結果 3月下旬に通知

助成金の贈呈 6月中旬予定

*助成が決定した研究の代表者は
後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告 研究の成果およ

び助成金の使途状況について、
2023年9月30日までに本財団

所定の様式により報告。研究成果
は、2024年7月頃に発行予定

の「木村看護教育振興財団2022
年度看護研究助成事業」看護研究

集録31号」に収載。この研究集
録は日本全国の主要な病院や看護

系大学に配布予定。研究報告書の
内容は、国の内外を問わず、他の

出版物（デジタル媒体を含む）に
すでに発表あるいは投稿されてい

ないものに限る。また、本財団の
看護研究集録が発行されるまで

は、他団体への投稿をしないこと。
学会誌等に投稿する場合、二重投

稿になる可能性があるので投稿機
関に確認すること。研究の成果を

関係学会等に発表する際には、公
益財団法人木村看護教育振興財団

助成による研究である旨を明記の
こと。

◎専門看護師（CNS）奨学金助
成

募集分野 2021年9月時点で
公益社団法人日本看護協会専門看

護師制度委員会が特定している次
の13専門看護分野について募集

（がん看護、精神看護、地域看護、
老人看護、小児看護、母性看護、

慢性疾患看護、急性・重症患者看

護、感染症看護、家族支援、在宅
看護、遺伝看護、災害看護）

支給対象者 看護系大学大学院修

士課程専門看護師教育課程2年
コースの2年次進級予定者で、次

の①②を満たしている者
①大学院は、日本看護系大学協議

会により専門看護師教育課程の認
定を受けた大学院の当該課程に在

籍している者
②臨床あるいは地域看護の分野で

専門看護師認定を受けられる実務
経験を満たせる者

支給額 年額60万円
支給期間 1年間（4月から翌年

3月まで）
支給条件 看護系大学大学院専門

看護師教育課程に在籍し、修学中
の者で2023年3月に同課程修了

後、専門看護師として必ず資格
認定を受け、認定された看護専門

分野の臨床に2年以上就業するこ
とを確約できる者。ただし、支給

条件に反した場合には、奨学金の
返還を求める。

奨学金申請手続きに必要な書類

①本人記載の申請書
②専門看護師としての将来展望、

抱負
③1年次前期の成績証明書
④指導教員の推薦書

⑤5年以上の実務経験（すべて）
を証明する書類

*②の書面の様式は自由。ワープ

口12000字程度を上限にA4版
で記載すること

*③④についてはそれぞれ封印さ

れたものを同封すること
*⑤は必要に応じてコピーして使

用のこと
*③⑤のうち、提出できない書類

がある場合は、理由書を同封する
こと

奨学金受給者の事後報告義務等
証明に関するものは、その都度速

やかに提出すること
①大学院修士課程、専門看護師教

育課程の修了を証明するもの
②専門看護師の認定を証明するも

の
③就業先の在籍を証明するもの
④氏名や住所等の変更

申込締切日 1月20日（木）必着
選考結果 3月下旬に通知

【以下共通】
公益財団法人木村看護教育振

興財団
〒113-0033

東京都文京区本郷5-25-14
8階

☎03-5800-2700
FAX 03-5800-0022

✉kimura-ir@nurse.jp
<http://www.nurse.jp/>

第51回日本慢性疼痛学会 （現地+Web開催）

日程 2月25日（金）〜26日（土）

会場 佐賀市文化会館（佐賀県佐
賀市）

テーマ 慢性痛を理解する——心
身一如、心と身体の間わり

プログラム 基調講演 飯田宏樹
（岐阜大学）／特別講演①「身心一

如、東西一如、自他一如の痛み治
療」外須美夫（国際医療福祉大学）、

②「新型コロナウイルス感染症と
その対策」大曲貴夫（国立国際医

療研究センター）／教育講演①「認
知症患者における疼痛マネジメント

」丹羽真一（福島県立医科大学）、
②「慢性疼痛に対する漢方治療」

平田道彦（平田ペインクリニック）、
③「サイトカインによる疼痛制

御」吉田裕樹（佐賀大学）、④
「多面的評価に基づく慢性痛の集

学的治療と健康寿命の延伸に向け
た運動器の包括的な評価・介入（A

SOコンセプト）について」松平
浩（東京大学医学部附属病院）／

シンポジウム①「慢性疼痛患者と
向き合うコト」多職種からの提

案 松原貴子（神戸学院大学）ほか、
②「慢性疼痛に対するオピオイド

鎮痛薬の適正使用について共に学
ぶ」上野博司（京都府立医科大学）

ほか、③「慢性疼痛診療のアウト
カムの位置づけ——何をもちて

治ったとするのか——治る患者
と治らない患者」井上真輔（愛知

医科大学）ほか、④「慢性機能性
疼痛疾患」坂本英治（九州大学）ほ

か／ワークショップ①「慢性痛心
理ワークシヨップ」細井昌子（九

州大学）ほか、②「慢性疼痛に対
するインターベンショナル治療」

吉村文貴（岐阜大学）ほか、③「慢
性疼痛に対する東洋医学的治療—

基礎研究から臨床へ」中西美保
（滋賀医科大学）／市民公開講座

「知っておきたい腰痛・腰部脊柱
管狭窄症・健康長寿に向けた知識

と対策」松平浩（東京大学医学部
附属病院）

運営事務局
〒849-0917

佐賀県佐賀市高木瀬町長瀬
1913-3

ビジュアルシステム内
☎0952-377-9770

FAX 0952-377-9771
✉info@sscp51.com

<https://sscp51.com/index.html>

第16回東京都病院学会 （Web開催）

日程 「ライブ配信」2月27日（日）

9〜17時（予定）、「オンデマンド
配信」2月27日（日）9時〜3月20

日（日）23時59分
テーマ コロナ後の病院経営——

変わることを恐れない

プログラム 基調講演「COVID-19を振り返って——公私・市民を考える」河北博文(東京都病院協会)／協会長講演「コロナ禍における東京都病院協会の対応」猪口正孝(東京都病院協会)／学会長講演「晴れてよし 曇りてもよし 富士の山」——コロナ禍の財団 過去現在未来 横山孝(東京都病院協会)／シンポジウム／特別講演／委員会企画

参加費 院長 理事長 1万5000円、職員等 5000円、学生 1000円

事前参加登録締切 2月26日(土) 18:00

参加登録方法 左記URLの参加登録ページより。
<https://tmha16.com/>

問合せ事務局
〒101-0062
千代田区神田駿河台2-5
東京都医師会館404号
東京都病院協会内

TEL 03-5217-0896
FAX 03-5217-0898
gakmha@xqb.biglobe.ne.jp (学会専用)

<https://tmha.net/gakkaif/infot6h.html>

第32回日本医学看護学会 教育学会学術学会 (現地開催)

日時 3月5日(土)

会場 ANAクラウンプラザホテル宇部(山口県宇部市)

テーマ 心不全パネミックへの挑戦

プログラム 会頭講演「心不全に心を奪われて」大草知子(こころ吉訪問診療クリニック)／特別講演「Creating successful medical team for heart failure care (tentative)」Professor Anna Stromberg (Linköping University)／シンポジウム「包括的チーム医療で取り組む心不全」：「残された課題としての心不全」木原康樹(神戸市立医療センター 中央市民病院)、「心不全患者の在宅療養を支える心不全チームの取り組み」今、看護師にできること、やるべきこと「前田靖子(名古屋澄心会名古屋ハートセンター)、「循環器病対策推進基本計画と地域医療」名越究(島根大学)／市民公開講座「つづくと睡眠」：「きょういくときょうようで認知症予防」宮崎総一郎(中部大学)、「心臓病と睡眠について」安藤真一(九州大病院)、「動物の時間から見た睡眠」本川達雄(東京工業大学)

参加費 「事前」一般会員3000円、非会員4000円、学部学生2000円、「当日」一般会員4000円、非会員5000円、学部学生2000円

事前参加登録締切 1月19日(水) 17:00

参加登録方法 左記Webサイトの参加登録フォームより

問合せ事務局
〒755-8588
山口県宇部市相生町8-1
ANAクラウンプラザホテル宇部内

TEL 0836-22-0250
FAX 0836-22-0125
jamne32frontier@gmail.com
<http://www.jamne.org/meeting/32.html>

文化看護学会 第14回
学術集会(現地+Web開催)

日程 3月12日(土)

テーマ 「ふれあう文化と看護プログラム」「ふれあう暮らしと看護(仮)」永井優子(自治医科大学)／基調講演「ふれあう文化——からだ・記憶・関係性(仮)」伊藤亜紗(東京工業大学)／教育講演「看取ること」と『葬送すること』の変容(仮)「田中大介(自治医科大学)／シンポジウム「COVID-19がもたらした「看取

り」の変容をどうするか(仮)」：①「緩和ケアの立場から」小松崎香(自治医科大学付属病院)、②「在宅ケアの立場から」調整中、③「COVID-19患者の在宅診療の立場から」調整中／市民公開講座／交流集会」一般演題

参加費 「事前」一般6000円、学生1000円、「当日」一般7000円、学生1000円

参加登録方法 左記Webサイトの参加登録フォームより

問合せ事務局
〒329-0498
栃木県下野市薬師寺331-159
自治医科大学看護学部内

TEL 0266-24-4001
FAX 0266-24-4002
info@bunkango14.com
<https://www.bunkango14.com/>

第36回日本助産学会 学術集会 (Web開催)

日時 3月19日(土)～20日(日)

テーマ ウイメンズヘルスを起点とする助産ケア

プログラム 会長講演「ウイメンズヘルスを起点とする母子ケア」渡邊浩子(大阪大学)／ICM特別講演(同時通訳あり)「An autonomous profession: implementing ICM's Midwifery Professional Framework」Dr. Sally

Pairman (International Confederation of Midwives)／特別講演①「産婦人科医が取り組む生涯を通じてウイメンズヘルスケア」木村正(日本産科婦人科学会)、②「大切な人の「想い」とともに」112日間のママ「清水健(フリーアナウンサー)／教育講演①「多職種で実現する女性の心と体の健康」対馬ルリ子(対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座・新宿)、②「輝く老年期を迎えるための女性の支援」神出計(大阪大学)、③「学生の主体性・やる気を引き出すかわり」根岸和政(大阪大学)、④「エビデンスに基づくケアを提供する助産師が知っておくべき統計解析」新谷歩(大阪市立大学)、⑤「母から子に受け継がれる腸内細菌」牧野博(ヤクルト)／市民公開講座①「親になること」青木さやか(ワタナベエンターテインメント)、②「子どもの脳を傷つけない子育て」友田明美(福井大学)／シンポジウム①「カリキュラム改正に向けての助産師教育の強化」全国助産師教育協議会、②「胎児期から乳児期までの切れ目ない支援」、③「COVID-19の感染対策に奮闘した医療従事者の活動と今後の展望」、④「科学で育児を楽しむ」、⑤「がん疾患を持つAYA世代の妊孕性の支援」、⑥「世界の助産師の活躍に

り」の変容をどうするか(仮)」：①「緩和ケアの立場から」小松崎香(自治医科大学付属病院)、②「在宅ケアの立場から」調整中、③「COVID-19患者の在宅診療の立場から」調整中／市民公開講座／交流集会」一般演題

り」の変容をどうするか(仮)」：①「緩和ケアの立場から」小松崎香(自治医科大学付属病院)、②「在宅ケアの立場から」調整中、③「COVID-19患者の在宅診療の立場から」調整中／市民公開講座／交流集会」一般演題

目を向けよう。助産師を元気に」
 (若手研究者活躍推進委員会主催)
 /ワークショップ①「地域での継続支援を推進する」、②「助産師が行う避妊教育・相談の意義」、③「アポーションケアの課題」・女性、助産師、システムの調査から見えたこと」④「災害に備える『滅災カレンダー 助産師版』の活用方法と活用効果」、⑤「乳腺炎ケアガイドライン2020 あなたも乳腺炎重症度判別スコアリングの達人になろう」、⑥「ガイドラインの読み解き方と活用」、⑦「社会の変化に即応する政策活動の展開——コロナ陽性妊産婦への支援/交流集会①『母子のための地域包括ケア病棟』を創ろう」、②「やせ体格の妊婦の体重増加をどう支援するか——改訂された『妊娠前からはじめる妊産婦のための食生活指針』をふまえて」、③「助産政策に強くなるうー」第8次医療計画に向けた助産師の役割発揮」

事前参加登録 「第1次受付」会員8000円、非会員1万2000円、学生(会員)無料、「第2次受付」会員1万円、非会員1万4000円、学生(会員)無料、学生(非会員)4000円

参加登録期間 「第1次受付」2月28日(月)まで、「第2次受付」3月1日(火)〜16日(水)

参加登録方法 左記Webサイトの参加登録フォームより
 問 運営事務局
 〒531-0072
 大阪市北区豊崎3-20-1
 インターグループビル
 インターグループ内
 ☎ 06-6372-3052
 ☎ 06-6376-2362
 ✉ jam36@intergroup.co.jp
<http://jam36.unin.jp/index.html>

**日本地域看護学会
 第25回学会集會
 (現地+Web開催)**
 日時 8月27日(土)〜28日(日)
 現地会場 富山国際会議場(富山県富山市)
 テーマ 地域生活者の健康と存在を護る地域看護のプロフェッショナル——当事者・家族が普通に生活できる暮らしの場づくり
プログラム 学術集會長講演「当事者・家族の暮らしの場で生活を護る地域看護」田村須賀子/特別講演「地域看護への期待——看護職の自立のために」上野千鶴子/教育講演①「『家族の総意』をどう作り上げるか——解決志向型の家族システムアプローチ」柳原清子、②「住民主体の共生型地域づくりとAAR循環」堀田聰子、③「今、あらためて働き盛り世代への健康アプローチ」大神あゆみ、④「ポストコロナ禍の保健師の現任教育」佐伯和子/シンポジウムA「個々のニーズに向き合い対応していくことにより着実に積み上げる保健師活動」松下光子ほか、B「地域でともに生きる」佐藤伸彦ほか、C「地域包括ケアに必要な多職種間の情報共有を支えるICTの利活用」金井秀明ほか/指定集会①「生活と医療を統合する継続看護マネジメント——実践への活用」長江弘子ほか、②「地域で守る子どもの健康——ネット依存」山田正明ほか、③「ポストコロナ禍の訪問看護」加藤真理子ほか、④「生活保護利用者の健康自己管理支援」谷山牧ほか/市民公開シンポジウム「アフターコロナ禍の自殺対策——地域で起きた分断の回復に向けて」立瀬剛志ほか/理事会企画ゼミナール——般演題/ワークショップ/企画展示など

参加費 「事前」会員1万円、非会員1万2000円、「当日」会員・非会員とも1万2000円、学生(大学院生除く)3000円
事前参加申込期間 1月11日(火)〜6月30日(水)24時
申込方法 左記Webサイトよりオンライン登録
参加費支払期限 6月30日まで
 問 運営事務局

〒456-0005
 愛知県名古屋市熱田区池内町3-21 ユピア内
 ✉ ach25@yupia.net
 ☎ 052-872-8101
 (平日10:00〜16:00)
 ☎ 052-882-9612
<https://ach25.yupia.net>